



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

若 おおぐす

第91号
(特大号)

笑顔いっぱい!

若木っ子

前を向いて



育友会会長
松尾 剛

引き続きコロナ禍での令和3年度と
なりましたが、昨年の経験を継ぎ多く
を模索しながらも、更にたくましく成
長を遂げた1年となりました。これら
ひとと、日頃おびとに力頂いている
先生方をはじめ、保護者の皆様、地域の
方々のご協力とあたたかい支えがあつ
たことで、この場をお借りして心
より感謝申し上げます。

武雄市は8月の豪雨災害にも見舞わ
れ、被災者の皆様は心を痛めながらも、
生徒、学校、地域が「一体」として助け合
い、想いを形にする中で、教科書では
学べない大切なことを心に刻みました。
まだ、1年越して開催された東京オ
リンピック。そして記憶に新しい北京

オリンピック。聖火リレーから始まり、
全世界に多くの感動と希望を与えてく
れました。我が若木小学校の運動会
も、細かいところまで創意工夫が施さ
れ、1人1人が主役となり輝いた心に
残る行事となりました。応援に来て下
さってくださった方々から「感動した」
と熱いのお言葉を頂いております。
コロナ禍が続く中で、やねなく中止に
なつた行事もありました。修学旅行
や遠学合宿、親子ふれあい、皆の知恵
をしほつて最善の形で行われた行事は、
やはり一層の思いよとなつたことでしよつ。
当だの前のごことおなじみですが、今
までの常識が通用しない時代を生きて
抜く中で、真の力が問われる時。何度壁
が現れようとも、ぜひ後を回らず、立
ち止まることなく、勇気を携つて前進
してほし。少数精鋭の若木地区だけ
らこそ出来ることばかりある。今後と
も皆様の熱いご支援、宜しくお願ひ申
し上げます。



校長
羽田野 修

若木小では、これまで保護者や地域
のご支援、ご協力のもとさまざまな体
験活動や交流活動を積極的に進めてき
ました。
しかし、コロナ禍の中、このような感
染リスクの高い活動は、中止や見直し
が求められ、チームやオンラインで
の学習方法目されるものになりました。
小学校の時期には「ひと・もの・こ
と」に実際に触れたい体験したいする
中で育まれる力がたくさんあります。
若木小では感染状況落ち着いてきた
2学期以降、できる限り体験活動や交
流活動を実施してきました。生き生き
と活動している子どもたちを見ながら
物事に触れたり、人と人が触れあつ
たいする実体験の大切さを改めて感じ
ました。
しかし、一方で、様々な事が「オン
ライン」でつながるオンライン社会を生きて
いくためには、オンラインなどの一
CTを活用する力を身につけることも
大切です。
この2つは区するものではなく、お
互いのメリットを活かし、チーム
を補完していくことが大切です。若木
小では、これから地域と一体になつ
てスタート社会を生きていくために
若木っ子の育成に努めていきます。

スタート社会に生きる「たくましい若木っ子」の育成